

組合だより

【 第265号 平成28年7月 日本羊腸輸入組合 】

このたびの熊本地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

JNSCA のロゴタイプは平成18年に商標登録され、今年で10年の存続期間満了となりますので、その更新手続きを行う必要があります。この機会にJNSCAとJSCIAの使い分けについて触れてみます。

御存じのとおり日本羊腸輸入組合の定款第3条では、「本組合は、日本羊腸輸入組合(The Japan Sheep Casing Importers Association)と称する。」と英文名称も規定しています。御覧のとおり、日文と英文が合致しています。

では何故、商標登録はjNSCAなのでしょう？

平成15・16年頃の内外市場調査・弘報委員会では、もっと積極的に天然腸(羊腸)のPRを図っていこうという検討が行われています。その過程で、組合員各社の使う配送車にPRステッカーを貼ろう、デザインは(みなさん見慣れております)ウィンナーソーセージにフォークを刺したものを使おうというやりとりが残っています。デザインはいいけど組合の文字は？ロゴは？ということで、組合員の皆さまが通常使用していたJNSCAが案として浮上したようです。

英文正式名称を短縮したJSCIAでは読めない、INSCAや海外業界団体の米国NANCA、中国CNSCAのようなJNSCAをロゴにすればアクロニムでき馴染みやすいのではないかという判断があったようです。

事務局としても、海外向けには「羊腸」ではなく「天然腸」を前面に出したJNSCAは良かったと思いますが、jNSCAは商標ですので正式な文書ではJSCIAを使うように心掛けています。

平成28年度事業計画の中に明記しております中国肉類協会天然腸衣分会(CNSCA)訪日団との日中天然腸貿易合同会議を9月6日(火)浜松町貿易センタービル東京會館に於いて開催いたします。

既に、組合員の皆さまには御案内等の書類をお届けし、会議への出欠の確認・質問事項の提出の締切りを7月20日(水)としております。

是非、多くの皆さまに合同会議と合同会議後の夕食会にも御参加いただきたく、改めて御案内申し上げます。

1. 6月の主な組合活動報告

- 6月 1日 平成27年度事業実施報告書の届出
輸出入取引法に基づき経済産業大臣に届出を行いました。
- 6月 6日 出資配当金及び利用分量配当金の支払い
第53回総会決議に基づき、出資配当金（10%）及び利用分量配当金（10%）を支払しました。

【財務省通関統計】

平成28年5月の天然ケーシングの総輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 303.7 t (前月比+31.3 t、+11.5%/前年同月比+53.4 t、+21.4%)
- ・中国原産 181.3 t (" +21.5 t、+13.5%/ " +67.4 t、+59.2%)
- ・豪州原産 76.0 t (" △ 6.2 t、△ 7.6%/ " △ 7.0 t、△ 8.4%)
- ・NZ原産 41.0 t (" +19.0 t、+86.2%/ " △10.7 t、△20.8%)

【組合受付統計】

平成28年6月の組合受付数量は、次のとおりです。

- ・受付数量 合計：731,420ハクス
(羊腸：713,870ハクス、豚腸：17,550ハクス)
- ・前月比+33.4千ハクス (+4.8%) /前年同月比△105.9千ハクス (△12.6%)
*詳しくは組合ホームページをご確認ください。

2. 検査所だより

【横浜検査所（八幡橋消毒所）の動向】

- ①6月23日、経済産業省農水産室長他2名の方が、消毒業務の視察に訪れました。
- ②6月8日及び9日に定期健康診断を実施しました。
- ③6月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種別	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	50,000	325,390	339,790	35,600
豚腸	0	26,150	23,000	3,150
計	50,000	351,540	362,790	38,750
牛腸	0	0	0	0

(単位:羊・豚腸:ハクス、牛腸:Bundle)

【新山下検査所の動向】

- ①緑の木陰が心地よい季節になりました。

夏本番に備えて、体調管理、衛生管理に注意をして職員一同業務に励んでおります。

- ②労働衛生法第66条に基づく健康診断を神奈川予防医学協会にて6月8日(水)に検査職/事務職が、10日(金)に消毒職が受診致しました。
- ③6月28日(火)に受水槽の内部清掃、給水ユニットの保守点検を行いました。
- ④6月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種別	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	72,000	298,200	337,200	33,000
豚腸	0	1,200	0	1,200
計	72,000	299,400	337,200	34,200
牛腸	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸：バックス・牛腸：Bundle)

【成田検査所の動向】

- ①6月の航空貨物の搬入数量は、9,000バックスで、対前月比約17%でした。
- ②6月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種類	前月からの繰越	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越	
航空	羊腸	9,184	7,800	16,984	0
	豚腸	0	1,200	1,200	0
	合計	9,184	9,000	18,184	0
船舶	羊腸	29,300	31,000	46,300	14,000
	豚腸	0	0	0	0
	合計	29,300	31,000	46,300	14,000
合計	羊腸	38,484	38,800	63,284	14,000
	豚腸	0	1,200	1,200	0
	合計	38,484	40,000	64,484	14,000

(単位：羊・豚腸：バックス、牛腸：Bundle)

3. 今後の主な予定

- 7月6日(水) 保税蔵置場内部監査(成田検査所)
- 7月13日(水) 平成28年度第2回理事会(組合会議室)
- 8月15日(月)/16日(火) 夏季休暇
- 8月24日(水) 平成28年度第3回理事会(組合会議室)
- 9月6日(火) 日中天然腸貿易合同会議

以上